

# 神田通信

●歌稿の送り先は、本社です。  
毎月10日(必着)が締切。

土日の配達、翌日配達もありません。その点を考慮して余裕をもってお送りください。

●来年度から(令和六年四月)各欄とも会費が月額五〇〇円上  
がります。十月の全国大会にお  
ける運営連絡会、及び総会にて  
値上げが承認されました。

A欄：月額二五〇〇円

B欄：月額二〇〇〇円

C欄：月額一五〇〇円

購読：月額一五〇〇円

D欄(二十歳未満の学生)に  
ついては月額五〇〇円というこ  
とで、据え置きとなっています。  
地中海誌の印刷発行、及び送料  
だけでも月額一〇〇〇円を上回っ  
ています。会費収入のみで運営  
されている地中海社です。ご理解  
いただき、ご支援くださいまし  
す。よろしく願います。

〔地中海社〕

◆大会から帰宅後の二十日のこ  
と、腰痛発症のため四苦八苦し  
ております。痛み持続中。

(茂木)

◆区の短歌大会に参加。詠草を  
出し、事前に選歌をして当日は  
講師の批評を受けた。講師賞受  
賞歌に私が選んだ歌は一首もな  
く、講師は納得できてショック。

(玉井)

◆冬靴は出した。ダウンはもう  
着ている。車のタイヤも履きか  
えた。冬への備えはできたが、  
気持ちが進いつかない。秋が短  
すぎて。夏が長すぎて。(木村)

◆今年一番うれしかったのは、  
地中海の全国大会が開催された  
ことです。地中海という大海洋  
に守られ、育てられていると、  
深く感じます。感謝!(磯田)

◆先日、「フィガロの結婚」を  
観た。本格的なオペラ鑑賞は初  
めてなので心配だったが、貴族  
社会を挿入するドタバタ喜劇。  
なにより生の声が素晴らしく居  
眠りしている暇はなかった。は  
まりそうだ。(高尾)

◆立冬も過ぎたのにまだ紫陽花  
が。そして、編集は一月号と。  
季節も混沌、頭も混沌ですが、  
明年もよろしく願います。

(和美)

◆猛暑の夏は厳冬だとか。自然  
はそれでバランスを取っている  
のだろうか。同じことならば、  
暖冬冷夏で願いたい。(成彦)

◆全国大会にグループから五人  
が初参加。いろいろ不安もあっ  
たようだが、みんな口を揃えて  
「行ってよかった!」と。うれ  
しかった。(藤田)

◆午前六時、郵便受けの朝刊の  
下に「地中海」十二月号。足元  
にストープを引き寄せ、食卓で  
頁を開く。亡き人をおもう歌に  
たくさん出会った。(楡垣)

◆十一月十五日(水)、今号の  
編集作業を磯田・関根・玉井・  
久我の四名でおこないました。  
京成社から十二月号も届き、編  
集会議の後に、総務の藤森さん、  
会計の永塚さん、大浪さん、泉  
さんも加わって、全国大会の反  
省会もおこないました。

◆今号には、全国大会の記録が。  
残念ながら参加できなかった方  
も、その雰囲気をお楽しみくだ  
さい。次の全国大会は、令和七  
年五月に琵琶湖畔で開催の予定  
です。もう今からご予約を!

◆「第一歌集を読む」は、白子  
れい歌集「疏水のほとり」。琵琶  
湖疏水のほとりにお住まいの  
白子さんです。

◆虎谷信子さんの追悼号。原澤  
吟子さんに原稿依頼をしていま  
したが、緊急入院ということで、  
急遽、福光敬子さんをお願いし  
ました。原澤さんにはまた改め  
て書いていただくつもりです。

◆茂木さん、ただ今庄迫骨折の  
ため入院治療中です。原稿用紙  
の注文につきましては、葉書で  
本社に願います。(久我)

## ●本社編集日(予定)●

- 1月12日(金)
- 2月14日(水)
- 3月12日(火)
- 4月12日(金)